



読書のまちかわざき

親子読み語りタイム 8月号番外編



令和2年8月

新型コロナウイルス感染防止のため、8月も各保育所で「絵本の読み語り」を見合わせる所が多いので、読み語り情報の掲載はいたしません。今月も「絵本」について、子どもの姿「あるある話」を紹介しします。今後の親子での絵本の時間の参考になれば・・・と思います。

「絵本あるある話」～こんな姿に どうして？とっていませんか。その③～

絵本を乱雑に扱う時～絵本は大事に扱って欲しいを思いを伝えるには・・・～

絵本は大事に扱って欲しい！と思うのに子どもが絵本を舐める、破く、投げる、いたずら書きをする・・・こんな時はどうするの？そんなお悩みを聞くことがあります。

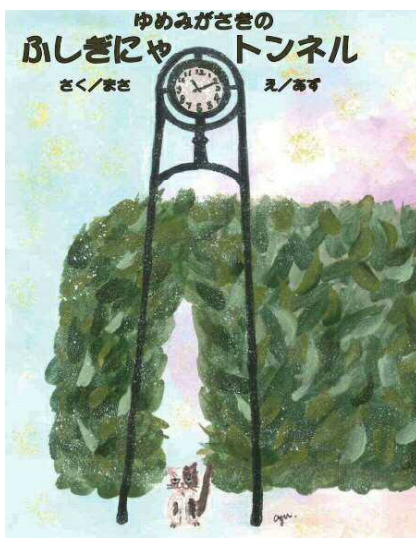
ついつい、大人は「どうしてするの？ 駄目じゃない！」と思いますが叱ったりする前に、一呼吸。子どもの姿には思いがあります。月齢が小さい頃は舐めて口の感覚で確認したい、手先が発達してくると手先を使いたくなるものです。代わりのおもちゃや代用できる物（破いて良い物、投げて良い物、書ける物）を用意して、子どものやりたい思いを理解してあげながら「絵本は大事にしようね」と繰り返し伝えていきましょう。子どもが、そーっと（嬉しそうに）冷蔵庫を足で閉める姿を見て恥ずかしくなった！というエピソードを聞いた事もあります。子どもは身近な大人の姿も真似てみたくなるものです。

絵本に限らず日頃から物を大事に扱う姿を見せていくことも大事かもしれませんね。



ご存じですか？ 幸区夢見ヶ崎を舞台にした絵本～

夢見ヶ崎絵本 「ゆめみがさきのふしぎにゃトンネル」



夢見ヶ崎動物公園を舞台にした絵本です。主人公の猫「プサ」が夢見ヶ崎動物公園（加瀬山）の歴史を案内します。

デジタル絵本は
こちらから



絵本にちなんだイベントの企画も予定しております。

お問い合わせ先： 幸区役所企画課044-556-6612

こども未来局保育事業部幸区保育総合支援担当

（兼）幸区役所地域みまもり支援センター保育所等・地域連携担当 発行